

2020年8月26日(水)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	甲州牛増産に向けた効率的採卵サイクルの確立	
研究期間	平成29年度 ~ 令和元年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	4.6
[評価所見]		
<p>本課題は計画通り進捗し、当初の目標を超える成果をあげたと判断します。</p> <p>早期採卵技術の確立は、甲州牛の安定供給と生産に直結する、重要な課題と位置づけられ、農家からの期待も高い内容である。</p> <p>新しいSOVおよびTAIプログラムの結果からは、早期採卵と早期人工授精が可能であることが示された。既に数カ所でのこの技術の導入が図られていることから社会実装にも結びついており、今後、更なる普及が期待される。</p> <p>このためには、採卵サイクルによる母牛の健全性や、生まれてくる仔牛の発育、最終的な枝肉や肉質については、長期的に追っていく必要があり、継続的な調査を望む。</p>		

2020年8月26日(水)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	豚肉の格付け成績向上を目指した厚脂改善技術の確立	
研究期間	平成29年度 ~ 令和元年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	3.6
[評価所見]		
<p>本課題は計画通り進捗し、当初の目標を達成したと判断します。</p> <p>格付向上のため、厚脂対策技術を確立することは、養豚農家の収益性向上のために、重要な課題と位置づけられる。</p> <p>山梨県内で排出される製造副産物のうち、紅茶粕が厚脂を軽減する効果が高いことを明らかにし、配合飼料に混合する最適な割合を決定した。この飼料中のトウモロコシを飼料用米に置き換えることで、豚肉の旨味を向上できることを明らかにした。</p> <p>今後、この技術の普及を図るためにマニュアルの作成をおこなうと同時に、紅茶粕の処理法（経費をかけずに乾燥をおこなうこと）、原料としての紅茶粕の供給について検討をお願いする。</p>		

2020年8月26日(水)

研究種別	重点化研究	
研究課題名	機能性資材を用いたブランド鶏卵生産技術の開発	
研究期間	平成29年度 ~ 令和元年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	4.6
[評価所見]		
<p>本課題は計画通り進捗し、当初の目標以上の成果をあげたと判断します。</p> <p>山梨県内で生産または加工される素材を用い、宿主の健全性を高め、かつ抗酸化能等の機能性を付与した鶏卵が生産できることを明らかにした。</p> <p>本課題で確立された技術は、既に養鶏農家で使用されており、社会実装に至っている。複数の養鶏農家による県内ブランドを確立するためには、本課題で使用した機能性資材の、年間通しての安定供給が求められる。今後、この点のご検討をお願いしたい。</p>		